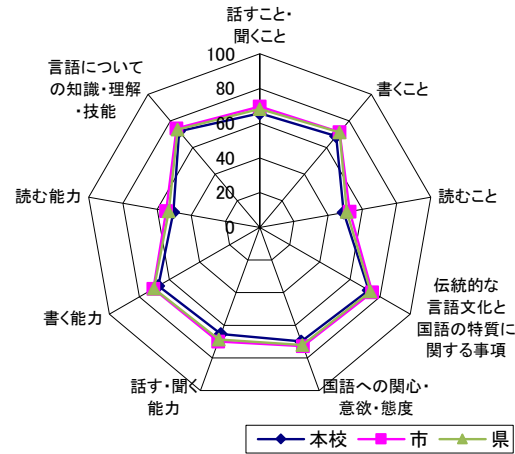


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	65.7	69.6	68.2
	書くこと	68.5	71.7	71.5
	読むこと	49.1	52.6	51.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.5	74.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度	69.9	72.8	72.1
	話す・聞く能力	65.4	69.9	68.7
	書く能力	67.4	70.7	70.3
	読む能力	50.5	54.7	53.1
	言語についての知識・理解・技能	72.3	74.5	73.5



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話の内容を正確に聞き取る問題では、正答率が88.7ポイントだった。話の内容を正確に聞き取り、理解する力はあるといえる。 ●正答率が県の平均を2.5ポイント下回っている。 ●話し方の工夫を聞き取る問題では、正答率が42.9ポイントだった。会話の工夫については理解が不十分である。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・日頃の授業において話し合いの機会を設定し、自分の考えを述べる経験をたくさんつくる。また、相手の話をよく聞き、その内容を要約できるよう、考えながら聞く習慣を身に付けさせる。 ・発表の仕方、司会の仕方など、プレゼンテーションの方法を指導し、基本的な話し方・聞き方の練習をする。
書くこと	○読み取った内容を明確にして書く問題では、正答率が73.1ポイントで、この問においては県の平均を0.8ポイント上回っている。 ●正答率が県の平均を3.0ポイント下回っている。 ●自分の考えを明確にして書く問題では、県の平均を2.7ポイント下回っており、自分の考えを書くことについて苦手としている。	・自分の考えを書くことについて苦手と感じているので、普段の授業の中で、意見や考え、感想や疑問に思ったことなどを短い文章で書く機会をつくり、短文を書く練習を意図的に設定する。 ・スタンダードダイアリーを活用し、毎日文章を書く習慣を身に付けさせる。
読むこと	○文章の構成や展開を捉える問題では、県の平均を3.5ポイント上回っている。文章構成や展開に関する問題について理解する力があると言える。 ●正答率が県の平均を1.9ポイント下回っている。 ●登場人物の心情を捉える問題では、県の平均を6.0ポイント下回っており、心情描写の読み取りが苦手と考えられる。	・文学的文章の読み取りについては、まず日頃の読書の質を高めさせる。授業では登場人物の心情描写から心情を読み取る習慣を身に付けさせる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第1学年までに学習した漢字の読みについての問題は、県の平均とほぼ同じである。 ●正答率が県の平均を1.2ポイント下回っている。 ●小学校で学習した漢字の問題において、県の平均を下回った問題が多く見受けられた。また、故事成語など言葉に対する知識が乏しいといえる。	・語彙力を向上させるために、単元ごとの語句の意味調べを行い、言葉の意味を正確に理解させる。また、日ごろから辞書で調べる習慣を身に付けさせる。 ・故事成語や慣用句、ことわざなど、機会を設けて調べ学習や、復習プリントなどを用意し取り組ませる。